

## コイやヒツジ造形作品展

岡山県立大生 テキスタイルアートも



県立大生が手掛けたテキスタイルアートや造形作品

県立大(総社市窪木)のデザイン学部3年生有志によるテキスタイルアートや造形作品の展示会「&展」が22日、岡山市北区柳町の山陽新聞社さん太ギャラリー

で始まった。27日まで。造形デザイン学科の男女9人が約20点を出品した。杉原菜月さんの「鯉の滝登り」は、会場の床を活用し、コイが竜へと変身していく様を表現。福詩衣菜さんはヒツジの祖先と言われる、ムフロン」の頭をウールや麻で縫い上げた。他にも、数百本もの針金で作られた人の手や、日本に古くからある紗綾形の模様を赤や青、紫色で布に描いたテキスタイルアート、ネコの形をした急須やキャンドルホルダーの陶器も並んでいる。鎌倉涼花さん(21)は「卒業制作に向けたステップアップするための展示会。一人一人が培った技術を見てほしい」と話している。午前10時～午後5時

(最終日は同4時まで)「and ten20」で。25日午後3時と27日午後1時から、インスタグラムアカウント(小川耕平)